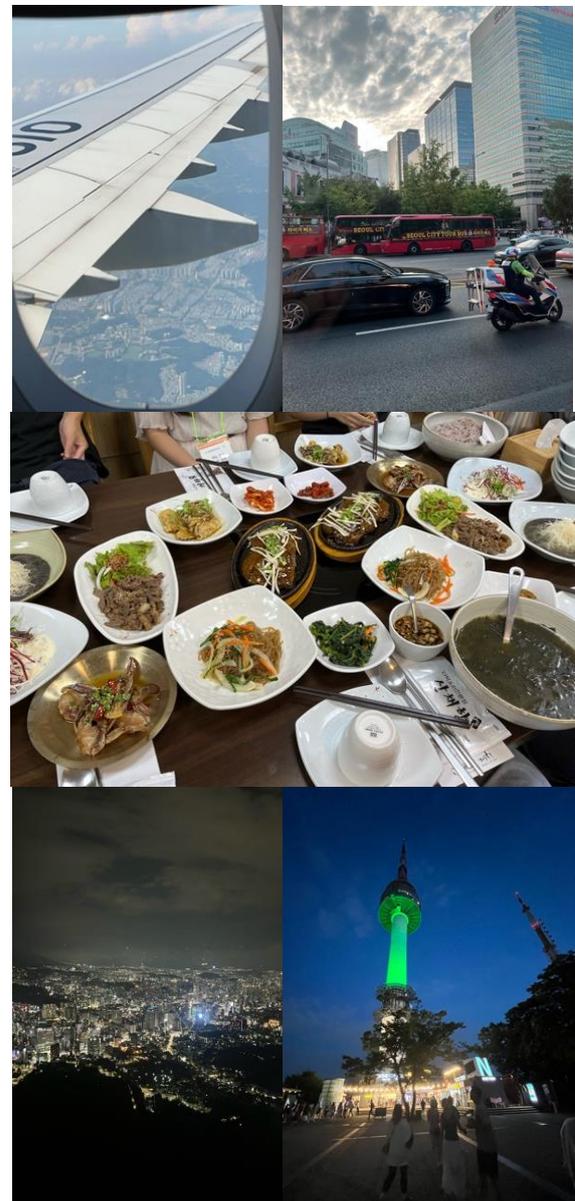


令和 6 年 8 月 7 日（水）から 11 日（日）にかけて、駐日本国大韓民国大使館主催の訪韓ツアーが実施され、宮城県から 10 名（一高からは 2 名）、石川県から 8 名の計 18 名が参加しました。韓国の食文化や伝統文化を体験したり、現地の高校生の方々と交流したりするといった貴重な経験ができました。ツアーの内容をご紹介します。

1 日目 8 月 7 日（水）

初日はアジアナ航空で仙台空港から仁川空港へ。隣国のため、わずか 2 時間で着きました。仁川空港で石川県の高校生と合流し、その後ソウル市内で夕食を食べるため、空港からバスで移動しました。夕食では、韓国のサラダや蟹料理、ハンバーグなどの肉料理、そして韓国料理には必ず付くキムチを食べました。（右写真）料理の中には独特な味がするものもありましたが、どれも美味しかったです。食後は N ソウルタワーに行きました。N ソウルタワーは、韓国の首都ソウル特別市の旧市街地の南に位置する海拔 262m の南山（ナムサン）にあり、韓国のテレビ局が所有する放送電波塔です。タワーに行くには、ケーブルカーを使い、山の頂上付近まで行きます。N ソウルタワーの展望台まで行くと、ソウル市内の夜景を見ることができます。タワーの標高も高いため、遠くまで見渡すことができ、ソウルの絶景を見ることが出来て感動しました。



2日目 8月8日(木)

2日目は最初にソウルにある観光関連高校の「大一観光高校」を訪問しました。学校に到着した後、まず交流の第一歩として、割り振られたグループ毎に自己紹介とお菓子交換を行いました。現地の方と本格的に交流するのは初めてだったため、とても緊張しました。しかし、現地の高校生の方々が日本語を流暢に話すことができたため、コミュニケーションを取りやすく、すぐ友達になることが出来ました。その後、ペアになり、学校の見学をさせていただきました。校舎内には将来パティシエを目指す人のための厨房や美容師を目指す人のための美容室のような教室がありました。中でも驚いたのが、CAを目指す人のために造られた実物大の飛行機模型があったことです。その中には座席がいくつかあり、実際に機内アナウンスなども行っていました。このように将来専門職を目指す人のために、高校とは思えないほどの充実した施設が完備されていました。学校見学の後は、ペアの人以外の方々と自由に交流をしました。そこでは、所属している部活や普段の学校生活についてなど、韓国の生活について多くのことを聞くことが出来ました。このような貴重な機会を経験することができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。

学校を訪問した後は、昼食に冷麺を食べ、K-POP ダンスを体験しました。ここでは、様々な有名アーティストのバックダンサーをしたこともあるプロのダンサーの方に、ダンスを教えてくださいました。今回はNewJeansのSupernaturalのサビ部分を踊りました。ダンス経験がないため難しかったのですが、分かり易く教えていただいたため、最終的に踊れるようになりました。ダンスを通してK-POPの魅力を知ることができ、K-POPについて強く興味を持ちました。ダンス体験をした後は明洞に行きました。大通りには屋台がたくさん並んでいて、お土産の他に美味しそうな食べ物など、様々なものがありました。屋台の他にもたくさんのお店があるため、皆ここで土産などを買いました。韓国でお土産を買う際は明洞がおすすめです。2日目は一日を通して多くの行事がありましたが、どれも一生思い出に残る貴重な経験でした。



3日目 8月9日(金)

3日目はまず韓国の外交部（日本の外務省にあたります）を訪問しました。いつもテレビで見ている場所に行くことが出来てとても貴重な体験となりました。韓国の尹錫悦（ユン・ソンニョル）大統領やさまざまな国の大統領などの国のリーダーがスピーチをしている場所に立って写真を撮ったことが特に心に残っています。またさまざまな国の貴重な展示品がたくさんあり、とても感動し、新しい発見があるものばかりでした。尹柱景（ユン・ジュギョン）アジア太平洋1課長から日韓関係の現状について講演をいただきました。その後、竹島の領土問題など私たちからの質問にも丁寧に回答していただきました。これからの日本と韓国の付き合い方が大切だとおっしゃっており、私たち若い世代がこれからの関係を築いていく上でとても学びのある講演会でした。

次に実際に自分たちでキムチやビビンバを作りました。キムチやビビンバは昔からの韓国の伝統的な食べ物で、日本でも昔から人気のあるものです。実際に自分で作ってみると材料が多かったり熟成させたりするなど、とても作るのが難しい印象を受けました。キムチは日本では手作りする機会は少ないため、とても貴重な経験となりました。また、K-POP体験ができるスタジオも訪れました。K-POPは日本でもとても流行っています。スタジオはインスタ映えする場所ばかりで、実際にアイドルの人たちが踊った場所だと思うと感動でした。そこには韓国のK-POPの歴史を学んだり体験できたりする所もあり、興味深いものばかりでした。

その後、仁寺洞観光もしました。仁寺洞では韓国の伝統工芸品がたくさん売っており、韓国料理のレストランなど観光客や地元の人々みんなに愛されている場所だなど感じました。南山韓屋村では韓国の昔ながらの建物についてたくさん学びました。気候や文化など日本との違いが分かるものばかりで面白かったです。夜ご飯に日本でも若者の間で特に人気を集めているチーズタッカルビを食べました。日本で食べるものとは少し違い辛さがあるなど感じました。とても美味しかったです。3日目も多くの学びがある楽しい一日でした。



4日目 8月10日(土)

4日目はまず北朝鮮と韓国の国境を見に行きました。両国間の関係が悪化していることから、より安全性の高い見学地へと予定が変更されました。韓国と北朝鮮の国境には展望台がありそこで北朝鮮を見ることができました。実際に展望台から眺めてみると北朝鮮の建物や人などたくさんのが見えました。特に北朝鮮の建物は日本や韓国のものとは違い、古くて質素な印象を受けました。車も少なく人々は自転車や移動している姿も印象に残っています。国境では北朝鮮からの拡声器放送を妨害する特殊な音が絶えず流れておりとても驚きました。展望台の後は資料館を見学しました。そこには昔の朝鮮戦争の際に出兵された方の家族のメッセージや思いを綴った写真や文章がたくさん飾ってあり、戦争の残酷さがよく分かるものでした。また、臨津閣にも行きました。そこでは昔韓国と北朝鮮を結んでいた電車や橋などが見られました。電車には戦争時代に銃で撃たれた跡がたくさん残っており、戦争の悲惨さを物語っていました。橋は現在通行止めとなっていますが、異様な雰囲気を感じるものでした。北朝鮮と韓国の国境は常に緊張が走っていて、張り詰めた雰囲気だなと感じました。

午後は青瓦台を見学しました。元々は韓国の大統領が住んでいた官邸で、2022年5月から一般に公開されるようになった青瓦台の敷地はとても広く、建物もとても立派で、韓国の文化を感じられるものもたくさんあり興味深い場所でした。その後、景福宮に行きました。そこでは韓国の伝統的な民族衣装であるチョゴリを着て散策しました。チョゴリには様々な色や形のものがあり、とてもかわいくかっこいいなと感じました。景福宮は昔の王朝の宮殿だけあり、とても広く立派な建物ばかりでした。日本との違いをたくさん発見することができ、韓国の文化を身をもって感じる事ができました。



今回のツアーでは、現地の学校訪問と生徒交流、外交部訪問など、滅多に経験することが出来ない貴重な機会を得ることが出来ました。また、韓国の歴史や文化について多くの知識を得ることが出来ました。また機会があれば、さらに多くの場所を訪れ、韓国の魅力を再発見したいと思います。このツアーを企画してくださった駐日本国大韓民国大使館様、そしてツアーに同行して下さった関係者の皆様に心から感謝申し上げます。